

## 弘前大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

本院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない患者さんもしくは患者さんの代理人の方は、下記の連絡先までお申し出ください。

1. 研究課題名	食道癌術後乳び胸の治療戦略			
2. 対象患者	当科で食道癌に対して食道切除術を施行し、術後乳び胸を発症した患者さん			
3. 対象となる期間	2004年1月1日      ~      2018年12月31日			
4. 実施診療科等	消化器外科,乳腺外科,甲状腺外科			
5. 研究責任者	氏名	吉田枝里	所属	消化器外科,乳腺外科,甲状腺外科
6. 共同研究機関 (共同研究機関研究責任者)	なし			
7. 研究の意義	乳び胸は胸管から漏出した乳び(乳糜:腸管からの脂肪球を含むリンパ球)が胸腔内に貯留した状態を指します。食道癌切除後の乳び胸の発生頻度は約3%と報告されています。一方で乳び胸は確立された治療法がなく、適切な管理ができない場合には呼吸、栄養状態に影響を及ぼし予後を左右する重大な合併症です。乳び胸の治療について一定の方向性を見出すことは手術成績、予後の向上に寄与すると考えます。			
8. 研究の目的	2004年から2018年までの当科で食道癌に対して食道切除術を施行し、術後乳び胸を発症した患者さん8人の治療成績を分析し、乳び胸に対する治療戦略を検討します。			
9. 研究の方法 (使用・提供する資料等および外部に提供する場合の方法等)	診療録から、病歴、年齢、性別、身長、体重などの臨床所見、各種検査所見、画像所見、手術所見、術式、合併症などの手術関連情報、術後経過、予後などの情報を収集し解析を行います。			
10. 個人情報の保護	患者さん個人が特定される情報を収集することはありません。研究結果は学会等で報告されますが、個人が特定される情報を公開することはありません。拒否の申し出があった場合は研究対象から除外しデータを削除いたします。ただし匿名化の上で解析済みの場合や研究結果公表済みはデータを修正することはできませんのでご了承ください。			
11. 利益相反に関する状況	本課題の研究代表者が所属する講座では、(株)ヤクルト本社、中外製薬(株)、アステラス製薬(株)、大鵬薬品工業(株)から寄附金を受領しており、利益相反状態にありますが、これらは本課題の資金源ではなく、研究は講座の研究グループによって公正に実施されます。本研究の利益相反状態については、弘前大学大学院医学研究科医学研究(臨床研究等)利益相反マネジメント委員会の審査を受けています。			
12. 連絡先	弘前大学医学部附属病院 消化器外科,乳腺外科,甲状腺外科 吉田枝里			
	電話	0172-39-5079	FAX	0172-39-5080